

山岳部 雄大な景観と御来光に癒された大雪山御鉢平 (7月30日(火) - 31日(水))

今回は1年生部員4名と顧問2名で、黒岳石室の山小屋に泊まっての1泊2日の大雪山山行。層雲峡に到着時、0-7℃の上は真っ白い雲に覆われ雨模様だったため1時間ほど待機。意を決し、重いメソバックを背負ってたどり着いた黒岳山頂も真っ白で展望なし。しかし、翌日の好天に期待し黒岳石室へ。夕食まで時間があつたので北海沢へ美味しい雪解け水を汲みに出かける。ここでSさんはヘッドライトを忘れる痛恨のミス。とは言え、美味しい水で食べたα米の夕食はやはり美味しかった。寒さに凍えた夜を経た翌朝、桂月岳の御来光はいつも通り神々しかった。6時に出発し、お鉢平展望台の雄大な風景を目に焼き付ける。雲に覆われていた北鎮岳周辺も我々が登頂する頃には、青空が雲間から姿を現してくれた。中岳、間宮岳を経て旭岳分岐まで来た時点で水分量や体力が十分でない者もいて、旭岳は次回に持ち越しとなった。旭岳分岐を過ぎた辺りから見るお鉢平の景観が圧巻だ。北海沢で忘れ物のヘッドライトを無事回収し、石室に戻ってメソバックを背負い直し、相変わらず雲に覆われた黒岳を経て下山。黒岳の湯でスリッパし、ラーメンなどで夕食を楽しんでから、それぞれが満足感を胸に岩見沢へと帰ってきた。



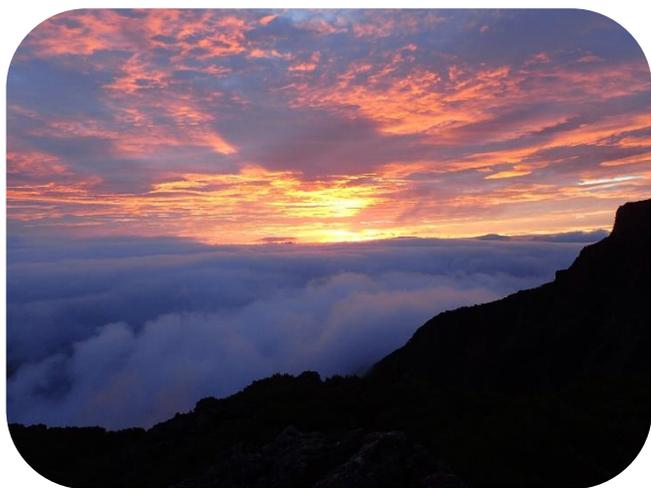
黒岳7合目から登山開始



厚い雲に覆われた黒岳山頂



お世話になった黒岳石室



神々しい桂月岳からの御来光



御鉢平展望台



北海道標高第2位北鎮岳山頂



旭岳分岐を過ぎた辺りからの御鉢平の景観が圧巻